



ASAHIYAMA ZOO 50th ANNIVERSARY 1967-2017

夏期開園の開園時間は 9:30~17:15(入園は 16:00 まで)
7月1日に旭山動物園は開園50周年を迎えます。
※とりの村は改修工事のため 2018年4月8日まで見学することができません

旭山動物園だより

発行所
旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104



「さる山」が18年ぶりに新しくなりました。

昨年からの改装工事中だった「さる山」が、夏期開園時にお披露目されました。擬木や寝室のほか、遊具も新しくなりました。空中でゆっくりできそうな「空中の個室」(といっても、何頭もここに乘ることがあります)や、木の枝のようにしなる鉄の棒など、ニホンザルの行動や暮らしがより楽しく観察できるようになりました。人間側にも、興味津々なアイテムが増えました。ワイヤーにつ下がっているカゴにはエサが入るのですが、サルがどのようにワイヤーを移動するのでしょうか?太いロープの移動方法とは違うので、ぜひ観察してみてください。また、館内のスロープに出窓が設置されました。どのようにエサをつまみ、食べているのかをとて間近に観察できるようになりました。18年ぶりに新しくなった「さる山」、60頭以上いるニホンザルの日常を、ぜひ見に来てください。春生まれの赤ちゃんもいますよ!

1階スロープの途中に設置された出窓からもサルを間近で観察できるようになりました

動物図書館で作ることができる「おりがみえほん」の最新版も「さる山のニホンザル」です

ゴマフアザラシの赤ちゃん、大きくなりました!

4/10からの休園直前、旭山動物園生まれの2頭のゴマフアザラシが産まれました。3/23には「ぼちゃ丸」が、4/3には「マメ」がメスの子を生みました。生まれたばかりの赤ちゃんは、真っ白な毛に覆われて生まれましたが、2週間ほどで白い毛はなくなり、大人と同じゴマ模様になりました。体はまだ小さいので、見つけやすいと思います。



①ぼちゃ丸の子。生まれて2日後。毛は真っ白です(3/25撮影)
②早くから水の中に入り、泳ぎ始めました(4/4撮影)
③大人と同じゴマ模様になりました(4/17撮影)

旭山動物園の動物図録が新しくなりました!

飼育スタッフが作った、旭山動物園の施設、飼育動物、取り組みなどを紹介した「旭山動物園の動物図録」(1080円)が4/29に発売になりました。10年前に発売されたものを大幅リニューアル、開園50周年記念として発行されました。園内各売店で購入可能です。



これから開催のイベント

6月	<ul style="list-style-type: none"> 第49回旭川市旭山動物園児童動物画コンクール作品募集開始 6月のワンポイントガイド 11(日)、18(日)、25(日) 6/10(土) 絵本の読み聞かせ(動物図書館) 6/24(土) 障がい者夜間特別開園 6/1から開催中 開園50周年記念イベント「動物園だより・どうぶつえんみんだより展」(動物資料展示館)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 7月のワンポイントガイド 9(日)、16(日)、17(祝)、23(日)、30(日) 7/1(土) 開園記念日 7/8(土) 絵本の読み聞かせ(動物図書館)

7/1(土)・2(日) 開園50周年記念日イベントについて

7/1(土)・2(日)は旭川市民の方の入園料が無料となります。開園時間を2時間延長します。開園時間は19:15までとなります(入園は18:00まで)

7/1(土)の主なイベント(予定)
開園セレモニー、50周年マルチポイントガイド、旭山動物園OBトークイベント、50周年クイズ大会(翌日も開催)、50周年記念誌の発行など

7/2(日)の主なイベント(予定)
「50歳!みんなで人文字」「0歳の手型をつくよう」など

土木の枝に緑が色づく新緑の季節ですね

夏期開園がスタートし、昨年からの改装工事中だった「さる山」もオープンしました。大型連休も終わり、最近の修学旅行や遠足で動物園を訪れる方々をよく目にします。木々には若葉が芽吹き、園内は新緑でいっぱいですが、聞こえてくるのは繁殖期を迎えたクジャクの大きな声のほか、シロテナガザルの声も響いていきますよ。旭山動物園で日々観察しに来てくださいね。

旭山の動物たちにとって春~初夏は××の季節です

人間にとって春は入学・進級・引越など動きがあり、初夏は運動会や遠足といったイベントが開催される季節ですね。では動物たちにとってはどんな季節?動物の種類によって違うので答えは一つではありません。冬に交尾期を終えたトナカイやエゾシカのオスはツノが落ち、新しいツノが生え始める時期です。クジャクは春~夏が繁殖期で、オスは美しい羽を広げメスに猛アピールしています。キングペンギンは5月中旬に卵を産み、ただ今抱卵中です。ホッキョクグマやアムールヒョウは5月上旬に交尾行動が見られました。両生類のエゾサンショウウオは5/14に卵から幼生が孵化しました。春~初夏は動物たちが活発に活動し始める季節です。



新しいツノが生えてくる季節です

オスにだけツノがあるエゾシカは、一番早い個体で4月中旬にツノが抜け落ちました。現在、袋ツノが生えてきています。オスもメスもツノが生えているトナカイのオスは2月下旬に、メスもその後抜け落ち、草くツノが落ちたオスは今、袋ツノが30~40cmほどになっています。同じシカの仲間のキョン(てながざる館)のオスにも、新しいツノが生え始めていますよ。ツノがある時期との違いを観察するのなら、この季節が一番です。



【上】新しいツノが生えてきている途中のエゾシカ(5/13撮影)



クジャクの繁殖期は春~夏にかけて。オンドリは初夏にかけてが繁殖期。繁殖期が終わると、美しい羽はなくなります(5/14撮影)
※オンドリは北海道産動物舎で観察することができます

美しい羽でメスに求愛する季節です

ダンスをしたり、鳴き交わしをしたり、種によって鳥類の求愛方法はさまざまですが、繁殖期とそうでない時期で、オスの羽が美しく変わる鳥類は、園内ではクジャクとオンドリだけ。今だけの姿です。